

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 大蔵 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校3年生は、単学級ですので、個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

3. 教科に関する調査結果の概要

- (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、英語）の結果

本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	10.3	69	7.3	49	6.8	40
全国	10.5	70	7.6	51	7.7	45

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	平均正答率は全国平均正答率を上回っており、比較的基本的な事項は理解ができていると考えられる。
	よくできた問題	言葉の特徴について理解する問いや文章を比較し、表現の効果について考える問いについてとてもよく理解ができている。
	努力が必要な問題	文脈に即して漢字を正しく書くことや叙述の仕方などを確かめて文章を整える問題は、誤った捉えをしている回答をしており丁寧な指導が必要である。

数学	全体的な傾向や特徴など	平均正答率は全国平均正答率を下回っており、数学的な表現について基礎的・基本的事項の定着が必要であるとされる。
	よくできた問題	数と式の基本的な問いや与えられた表やグラフから必要な情報を読み取ることよくできている。
	努力が必要な問題	図形の問題の構想に基づいて証明する問題について丁寧な指導が必要である。

英語	全体的な傾向や特徴など	平均正答率は全国平均正答率を下回っており、基礎的・基本的事項の定着が必要であるとされる。
	よくできた問題	言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読んだり、文と文との関係を正確に読み取ることができたりする問題についてとてもよく理解できている。
	努力が必要な問題	未来表現や相手の行動を促す依頼の表現を正確に書く問題について丁寧な指導が必要である。

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>・「人の役に立つ人間になりたいですか。」との問いに対して100%の生徒が肯定的に回答しているため、今後も学級や学校全体の中で、自分の力を発揮する場面を設定するなどし、達成感や自己肯定感を高めることができるようにする。</p> <p>・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。」という問いに対して100%の生徒が肯定的に回答しているため、日々の授業や総合的な学習の時間の中で、ICTの活用が生徒にとってあたりまえのツールとして活用できている表れだと思われる。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

国語科では、漢字の小テストや作文指導を丁寧に行う。英語科では、単元ごとに小テストを行ったり、英作文を正確に書く練習を行ったりする。数学科では、グループで課題解決を行ったり、放課後に個別の勉強会を行ったりする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

週末に2教科ごと、週末課題を出すことを全校で取り組んだり、日々の自主学習を定着化するようにしたりしている。保護者に家庭学習の重要性について啓発に力を入れている。